ポスター発表

2025年11月1日(土) 13:00 ~ 13:50 | 会場(金森産業ホール)
[P1] ポスター発表 #1

[P1-31] 個人と周辺住民のソーシャル・キャピタルの関連とその空間的範囲― 兵庫県養父市の高齢者を対象として ―

*岩本 開渡[1]、上杉 昌也[2]、楢﨑 兼司[2]、野藤 悠[3]、村山 洋史[3] (1. 福岡工業大学大学院、2. 福岡工業大学、3. 東京都健康長寿医療センター研究所)

キーワード：ソーシャル・キャピタル、空間的範囲

本研究では、周辺環境を距離ベースと人数ベースの2指標で定義し、個人のソーシャル・キャピタル（social capital; SC）と周辺住民のSCの関係、さらに空間的範囲の変化による関係の強さの変動を検討した。データには、2022年に養父市および東京都健康長寿医療センターが実施した「第3回養父市高齢者健康調査」（65歳以上対象）と「養父市健康調査」（35～64歳対象）を使用した。解析対象は、前者は3543名、後者は2796名である。SCの構成概念として、近隣信頼感（SC1）、互酬性・規範（CS2）、近所付き合い（SC3）、社会参加（SC4）の4種類を用いた。個人のSCは調査回答を順序尺度で評価し、周辺のSCは周辺住民の平均値で算出した。分析の結果、全てのSCで周辺距離や周辺人数の増加に伴い、個人と周辺のSCの関係は弱まった。特にSC3は一貫して他より弱かった。また、距離100～300m、人数10～30人の範囲では、「周辺」を行政区で定義したときよりも個人と周辺のSCの関係が強かった。

©一般社団法人地理情報システム学会